



# コミュニティ ソーシャルワーカー (CSW) スキルアッププログラム

2026年度 受講生募集要項



実務家 × 研究者による  
本格的な学びの場



東北学院大学

給付・助成のご案内

## 社会人のスキルアップを応援します！ 専門実践教育訓練受講支援のご案内

専門実践教育訓練の指定を受けた講座を受講する場合、雇用保険の加入等所定の条件を満たしている労働者・事業主はそれぞれ給付・助成が受けられます。

**社会人のみなさま**  
※訓練費用を受講者本人が負担する場合

### 専門実践教育訓練給付金の支給

- 【給付の内容】
- ・受講費用の50%を支給
  - ・修了後1年以内に資格取得等した場合、受講費用の20%を支給
  - ・さらに、指定の条件を満たした場合に限り、受講費用の10%を追加支給

- 【支給の条件】
- 雇用保険の被保険者期間が3年以上(初めて支給を受けようとする方は2年以上)の在職者又は離職後1年以内の方
  - ※直近の教育訓練給付金受給日から受講開始日前までに3年以上経過している方は支給対象

- 【受講前手続き】
- 受講開始日の2週間前までに原則本人の住所を管轄するハローワークに、あらかじめ交付を受けたジョブカードと『教育訓練申請給付金及び教育訓練支援給付金受給資格確認票』を提出
  - ※2024年2月から、電子、郵送、代理人による申請が可能となりました。
  - ※受講前手続きは、可否に関わらず手続きが可能です。時間に余裕をもって行ってください。

詳細はハローワークまでお問い合わせください。

**企業のみなさま**  
※訓練費用を企業が負担する場合

### 人材開発支援助成金の支給

企業が従業員の職業能力開発のために専門実践教育訓練を受講させる場合、厚生労働省より「人材開発支援助成金」の支援が受けられます。

- 【給付の内容】
- ・専門実践教育訓練受講経費の助成
  - ・専門実践教育訓練受講期間中の賃金の助成
  - ※助成額は事業規模等により、企業ごとに異なります。

- 【支給の条件】
- 労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して職業訓練等を計画に沿って実施する企業

- 【受講前手続き】
- 受講開始の1ヶ月前までに『訓練実施計画届』と、必要な書類を労働局へ提出

詳細は労働局までお問い合わせください。

### アクセスマップ



**五橋キャンパス**

- JR「仙台駅」から徒歩約15分
- 地下鉄南北線「五橋駅」直結

CSWスキルアッププログラムの授業は、五橋キャンパス内での開講を予定しています。

お問い合わせ



東北学院大学

東北学院大学 地域連携課  
(CSWスキルアッププログラム事務局)

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1 TEL 022-354-8140  
E-mail csw-pro@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

## CSWスキルアッププログラムとは

# 地域福祉、まちづくりのキーパーソンとなる コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の 育成・スキルアップを目指します。

「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）スキルアッププログラム」は、人口減少・超高齢化社会を迎えた地域が抱える様々な課題に対して、他者を巻き込みながら実践力を持って応えることができるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の育成・スキルアップを目指しています。

2016年度の開設以来、多くのみなさまに本プログラムを受講いただき、理論と実践を組み合わせた本格的なカリキュラムは、毎年度高い満足度を得ています。既にCSWとしてご活躍されていて、更なるスキルアップを目指す方、そしてこれからCSWとしての役割を担い、地域社会でのご活躍を考えている方の受講を心よりお待ちしております。

### Point 1

#### 体系的な実践性をもったカリキュラム

本プログラムは5つの科目分類（基礎科目、必須理論、実践技法、特論演習、事例研究）に沿って体系的、かつ包括的に授業科目を設定しています。授業では、現場の生の課題を教材に、グループワーク等のアクティブラーニング手法を積極的に取り入れ、学びを深めています。



### Point 2

#### 開講総時間数147時間の本格的な学び

1コマ90分、原則として土曜日4コマ、年間147時間の授業を開講しています。プログラムを修了するためには、120時間以上の受講が必要です。学びを振り返り、学修成果を統括する「中間報告会」と「最終報告会」も実施します。  
※一部の講義を遠隔授業（同時双方向型）にて実施します。



### Point 3

#### 地域福祉の現場で活躍する多彩な講師陣

地域福祉の現場で活躍する実務家と、東北学院大学や県内各大学に所属する教員が講師を務めます。現場の第一線に立ち続ける実務家からの実践的な学びと、研究者としての視点をもつ大学教員からの最新理論等を組み合わせることにより、実践力と専門力を兼ね備えたCSWの育成を目指しています。



#### 受講対象者

- 社会福祉協議会職員様
- NPO法人職員様
- 民間企業社員様
- 学生
- CSWにご興味のある方

## プログラムのカリキュラム構成

### 報告会

グループワークを通して、学んできた理論と実践を振り返り、学修成果を総括します。

- 中間報告会
- 最終報告会

### 基礎科目

福祉政策の動向や最新の理論研究の流れを踏まえて、地域福祉の基礎を学びます。

- 地域福祉の時代とコミュニティソーシャルワーク
- コミュニティソーシャルワークⅠ・Ⅱ
- ケースワーク
- 社会保障制度の新たな動向Ⅰ・Ⅱ
- コミュニケーション基礎論とICT活用

### 必須理論

地域の姿を把握する方法を学修するとともに、地域福祉活動計画の策定方法等を実践的に学びます。

- データによる社会調査・分析(社会疫学)Ⅰ・Ⅱ
- データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り)Ⅰ・Ⅱ
- 地域の施策と資源理解Ⅰ・Ⅱ
- 地域社会とCSR(企業の社会的責任)
- 組織運営
- 地域福祉活動計画Ⅰ・Ⅱ
- 地域アセスメント
- ファシリテーションの理論

### 必修科目

(63時間)

必修科目は「基礎科目」「必須理論」「報告会」から成ります。これらの科目の学修を通して、CSWに必要な基礎知識を学びます。

# CSW

Community Social Worker

### 特論演習

地域における様々な支援事例をもとに、多面的な角度から地域福祉のあるべき姿を総合的に検討します。

- 高齢者支援と地域社会
- 生活困窮者支援と地域社会
- 子育て支援と地域社会
- 障がい者支援と地域社会
- 精神障がい者支援と地域社会
- SDGsと地域社会
- 災害とコミュニティソーシャルワーク
- 三次救急病院からの地域移行支援
- 支援技術を活用した障がい者支援

### 事例研究

地域福祉の現場で実際に起きた事例を実務家が紹介し、様々な角度からその事例を研究します。

取り上げる主な事例：  
仙台市、南三陸町、柴田町、東京都豊島区、地域活動、成年後見制度、ボランティア活動支援

### 選択科目

(84時間のうち57時間以上の科目を選択)  
選択科目は「実践技法」「特論演習」「事例研究」に分かれています。実践的な技術の修得を目指すとともに、事例を題材にディスカッション等を行うことで、CSWとしての応用力を身に付けます。

### 実践技法

他者と協働するための知識や技法を学び、地域社会を構成する多様な関係者との協働を促進させる技術を修得します。

- 地域福祉とファンドレイジングⅠ・Ⅱ
- 協働の手法Ⅰ・Ⅱ
- ファシリテーションの実践
- 健康格差論
- コミュニティビジネス
- 臨床宗教学
- 対人コミュニケーションと心理的援助
- 発達障がい者支援
- ソーシャルワーク・スーパービジョン
- 認知症の理解と地域支援

カリキュラム、  
講師の詳細はこちら



## 多彩な講師陣(一部抜粋)

- 宮城県、仙台市 ■ 東北学院大学、東北福祉大学、仙台白百合女子大学
- 社会福祉協議会 ■ 地域包括支援センター ■ (一社)宮城県社会福祉士会 ■ (社福)宮城県障がい者福祉協会
- (一社)パーソナルサポートセンター ■ (一社)日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET
- (一社)ワカツク ■ (一社)SDGs とうほく ■ (特非)FORYOU にこにこの家 ■ Narita マルシェ
- 地域社会デザイン・ラボ ■ 仙台市立病院 ■ 通大寺 ■ 脳と心の石原クリニック ■ 社会福祉士事務所いろは

本プログラムは以下の認定を受けております。

文部科学省  
「職業実践力育成プログラム  
(BP)」認定



厚生労働省  
「専門実践教育訓練給付制度」指定講座  
給付・助成のご案内は裏表紙をご覧ください。





## 募集の流れ



## 受講日程(予定)



### 応募資格

高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または大学を受験できる資格を取得した方で以下の(1)、(2)のいずれかの条件を満たす方。

- (1) 社会福祉法人(社会福祉協議会等)に関わる職員
- (2) 地域づくりに貢献したいと考える方(学生も可)

募集定員 **20名**

履修期間 **1年間** (2026年4月開講～2027年3月修了)

### 出願書類

- (1) 履修生願書(所定用紙)
- (2) 最終学歴を証明する各種証明書(卒業証明書等)

### フォーム登録

出願書類のご準備と併せて、フォームへの登録を行ってください。登録された方に検定料の納付方法をご案内します。3月中に登録された方には4月1日(水)にご連絡します。4月1日(水)以降に登録された方には、受付次第、順次ご連絡します。

※フォームへのアクセスができない方は、お電話またはメールにて事務局までご連絡ください。

フォームはこちら



検定料 **10,000円** ※納付された検定料は返還いたしません。

### 出願方法

出願期間内に(1)及び(2)の手続きを行ってください。

- (1) 出願書類を郵送または持参  
〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1  
東北学院大学 地域連携課(シュネーダー記念館1階)
- (2) 検定料を指定口座に納付

### 出願期間

2026年4月1日(水)～4月7日(火)  
<窓口開室時間>  
平日・土曜: 9時～17時(日曜閉室)

選考方法 **書類審査**

### 可否通知

2026年4月10日(金)以降、ご本人様宛に可否をメール及び郵送書類にて通知いたします。合格者には事務局より受講料納付方法案内、開講式案内、提出用書類等を郵送します。

### 受講手続

2026年4月10日(金)～17日(金)の間に受講料を納付。

受講料 **100,000円**  
(但し、学生の場合は60,000円)

※納付された受講料は返還いたしません。

### 講義時間

原則として土曜日4コマ(計360分/1コマ90分)

- ① 9時00分～10時30分
- ② 10時45分～12時15分
- ③ 13時15分～14時45分
- ④ 15時00分～16時30分

※2026年度は147時間の開講を予定しています。  
※一部の講義を遠隔授業(同時双方向型)にて実施します。  
※課題の作成等において、パソコン等の端末を使用することがあります。

### 開講スケジュール(予定)

第1回	4月25日(土)	第14回	9月26日(土)
第2回	5月9日(土)	第15回	10月3日(土)
第3回	5月16日(土)	第16回	10月17日(土)
第4回	5月30日(土)	第17回	10月31日(土)
第5回	6月6日(土)	第18回	11月7日(土)
第6回	6月20日(土)	第19回	11月14日(土)
第7回	6月27日(土)	第20回	11月28日(土)
第8回	7月11日(土)	第21回	12月19日(土)
第9回	7月25日(土)	第22回	1月23日(土)
第10回	8月8日(土)	第23回	1月30日(土)
第11回	8月22日(土)	第24回	2月6日(土)
第12回	8月29日(土)	第25回	2月20日(土)
第13回	9月5日(土)	第26回	2月27日(土)

※開講スケジュールは変更になる場合がございます。

### 修了要件

以下の2つの要件を満たすこと

- (1) 必修科目(63時間)、選択科目(57時間以上)の履修。
- (2) 履修科目ごとに提出するミニツペーパーの点数が合格ライン以上であり、最終報告会で合格の評価を得る。

### 履修証明書授与式

2027年3月20日(土)予定

修了要件を満たすことで、学校教育法に基づく履修証明書が交付されます。



## 受講生の声

これまで地域福祉について学ぶ機会が少なく、CSWスキルアッププログラムを通して理解を深めたいと思い、受講を決めました。本プログラムでは福祉の基礎的な内容から実務に直結する講義まで、幅広く学ぶことができている。特にグループワークでは、意見交換を通じて新たな視点や気づきを得ることができるとともに、多様な立場の受講生が交流できる貴重な機会となっています。地域福祉についてこれから学びたい方はもちろん、課題・先進事例をより深く学びたい方にもおすすめのプログラムです。



2025年度受講生  
千葉 久美子 さん

## 修了生の声

障がい者福祉の事業経営に携わる中、より深く地域社会を考える必要性を感じ、CSWスキルアッププログラムを受講しました。多様な専門分野を持つ先生方の講義を通じて地域課題への解像度が高まり、受講生同士の交流から共同の取り組みも生まれました。修了後も先生方や大学、受講生との関係が続いており、大きな財産となっています。仕事や家庭と両立しながら1年間のプログラムに参加するのは容易ではありませんが、得られる学びは確かなものです。CSWの視点をもつ仲間が増えることが地域福祉の大きな力になると信じています！



2024年度受講生  
松木 知徳 さん